

厚生労働行政推進調査事業補助金

政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）

NDBをはじめとする医療ビッグデータを利活用できる人材の裾野を広げるための研究

ビッグデータ研究実践能力およびデータハンドリング技術養成プログラムの実践

研究代表者 康永秀生 東京大学大学院医学系研究科臨床疫学・経済学 教授

研究要旨： NDB・DPC 等の大規模データ解析に精通した研究者を育成することは急務である。2024 年度（令和 6 年度）に実施した「NDB・DPC 等データベース研究人材育成セミナー」の評価に基づき、2025 年度（令和 7 年度）には、特に SQL のハンズオンセミナーによる教育プログラムの検討、およびデータマネジメントに関するセミナーの改良プログラムを開発した。

さらに、人材育成セミナーでの教育を活かして、多数の研究者によるデータベース研究を推進し、2025 年は英文原著論文が 110 編出版された。

日常臨床のクリニカル・クエスチョンをデータベース活用により解明する研究実践能力を持つ研究者を多数育成し、データハンドリング技術と臨床研究実践能力の両方に長けた人材も多数育成することにより、わが国の大規模データベース研究の進歩を加速できる。

A. 研究目的

近年、保健医療介護のリアルワールドデータを収集した大規模データベース研究が拡大している。

平成 23 年度から「レセプト情報・特定健診等情報データベース（令和 5 年から匿名医療保険等関連情報データベースと称す）」（以下、NDB）の研究者への第三者提供が始まり、令和元年度から NDB オンサイトリサーチセンター（以下、ORC）が一般開放された。令和 2 年度から第三者提供が法制化され、民間事業者等への提供も可能となった。令和 3 年度には提

供情報の範囲が拡大され、さらに NDB のリプレイス及び NDB データ等をクラウド上で解析できる「医療・介護データ等解析基盤」（以下、HIC）の開発が進められた。令和 4 年度から ORC のクラウド化、HIC の試行的利用が開始された。このように、保健医療介護データベース研究の素地は整いつつある。

NDB 等のデータベースの利活用を推進する上で、保健医療介護の実態を理解し、なおかつデータ解析に精通した研究者を育成することは喫緊の課題である。そのために、臨床医学・疫学・統計学の知識に

加えて、データベースに関連する知識や技能の教育が必須である。

データベース研究に精通した研究者は、本研究班のこれまでの取り組みによって徐々に増加している。また、医学系研究者を中心に NDB 利用者は徐々に増加しつつある。しかし、民間事業者などの NDB 利用はいまだ極めて限定的である。NDB 利用者の裾野を広げるための人材育成が引き続き求められている。

先行研究にて開発された人材育成プログラムを2023年度（令和5年度）に改良し、「NDB・DPC等データベース研究人材育成Webinar（初級・中級者向け）」を新規に開発した。医学研究者のみならず民間事業者などを対象とするプログラムも追加した。これらを用いて、2024度（令和6年度）にはセミナーをWebで実施し、参加者によるプログラム評価も実施した。

2025年度（令和7年度）には、2024年度（令和6年度）の評価結果を参考に、特にSQLのハンズオンセミナーによる教育プログラムの検討、およびデータマネジメントに関するセミナーの改良プログラムを開発した。

さらに、人材育成セミナーでの教育を活かして、多数の研究者によるデータベース研究を推進し、これまで通り論文実績を積み重ねた。

B. 研究方法

■研究計画を遂行するための研究体制

康永は東京大学の ORC、中山は京都大学の ORC の運営を担当している。康永は NDB・DPC 等、中山は NDB データ等、田宮は介護データ等、山名は自治体レセプトデータ等の研究実績が豊富である。研究代表者・分担者全員が疫学・統計調査の専門家である。研究代表者・分担者等の役割について、人材育成プログラムの開発・実践には、研究代表者を中心として全ての研究者がコミットする。人材育成プログラムの成果を生かした大規模データ研究は、各研究者の所属する大学においてそれぞれ実践する。

疫学・統計学・医療情報学等の社会医学系研究者のみならず、臨床医学、健康科学・看護学などの研究者も加えて、総勢約 250 名が研究協力者として参画した。研究班メンバーが若手研究者を直接指導し、そこで日夜培われ開発される個別技術（データハンドリング技術、観察研究における統計解析技術など）を体系化・一般化し、既存の知識と合わせた、種々のビッグデータに応用可能な教育プログラムを開発し、それらを常に最新の内容にアップデートしてきた。

研究代表者はこれまで多くの臨床家との共同研究を行っており、ビッグデータからエビデンスを産み出す恒常的なサイクルを回し、英文原著論文を量産する体制を築いてきた。

1. 人材育成プログラム

先行研究において開発した人材育成プログラムをベースに、新たに開発した「NDB・DPC等データベース研究人材育成セミナー」を2024年度（令和6年度）に実施した。これには、ビッグデータ研究実践能力養成プログラムおよびビッグデータハンドリング技術養成プログラムが含まれる。

ウェビナーの録画は、厚生労働省のホームページにて2025年度（令和7年度）に公開し、オンデマンド配信した。

2024年度（令和6年度）に実施した講義のテーマは以下の通り。

- ①NDB・DPC等公的データベースの動向
- ②NDBのデータ申請とオンサイトセンタの利用
- ③NDB研究のデザインと実践
- ④DPCデータ研究のデザインと実践
- ⑤DeSCデータ研究のデザインと実践
- ⑥JMDCデータ研究のデザインと実践
- ⑦疫学・統計の応用(1)傾向スコア分析の応用
- ⑧疫学・統計の応用(2)操作変数法,差の差分析,回帰分断デザイン
- ⑨疫学・統計の応用(3)多重代入法
- ⑩疫学・統計の応用(4)薬剤疫学研究のデザイン
- ⑪民間企業によるリアルワールドデータ利活用
- ⑫自治体によるリアルワールドデータ利活用
- ⑬疫学・統計の応用(5)自己対照研究デザ

イン

- ⑭疫学・統計の応用(6)時間依存性交絡
- ⑮疫学・統計の応用(7)機械学習・深層学習
- ⑯SQLの活用：基礎編
- ⑰SQLの活用：中級編
- ⑱SQLの活用：上級編

2024年度に併せて実施したプログラム評価において、①－⑮のコンテンツについては概ね高評価を得られたものの、SQLに関しては講義のみでは理解が十分に達成できないとの意見が散見された。また、データマネジメントに関する講義が不足していた。これらを受けて、2025年度においては、SQLのコンテンツ改良、およびデータマネジメントに関するセミナーの改良プログラム開発に取り組んだ。

(1)SQLのコンテンツ改良

NDBは膨大で複雑な構造をもつデータから成り立っており、臨床疫学研究に活用するには、リレーショナルデータベースを自在に扱うための言語であるSQLの理解が欠かせない。しかし、多くのSQL解説書は技術者向けであり、医療データ特有の構造や研究設計に寄り添ったものはほとんどない。そこで、本研究班の研究協力者である岡田啓および大野幸子が中心となり、NDBをはじめとするデータベースの研究利用に特化したSQLの技術を整理し、その内容を一冊の教本にまとめて上梓した(超入門!リアルワールドデータ×SQL×臨床研究分析: サンプルデー

タとスクリプトでらくらくマスター. 康永秀生 (監修), 大野幸子 (著), 岡田啓 (著). 金芳堂. 2026/4/3 刊行)。

(2) データマネジメントに関するセミナー

臨床疫学研究に関連する情報管理の実際を学ぶとともに、大規模データベースから目的にあった標準データセットを抽出するプロセスを理解し、それを新たに設計することを習得するセミナーを開発した。

2. 大規模データベース研究の実践

先行研究における人材育成プログラム受講者をはじめ、多施設から多くの研究者と共同研究体制を構築し、NDB,DPC 等のデータベースを用いた臨床研究、疫学研究、医療経済・政策研究、ヘルスサービスリサーチを継続的に実施した。

C. 研究結果

1. 人材育成プログラム

2023 年度に開発した研究実践能力養成プログラムを、2024 年度に日本臨床疫学会の協力のもとで実践し、評価を行った。具体的には、2024 年 9 月 25 日 (水) - 9 月 27 日 (金) にオンラインによる参加型講義 (3 日間、50 分×18 コマ) を行い、受講後の理解度および満足度調査を行った。参加者は 843 名であり、アカデミアが 46%、企業に所属する者が 32%、その他

が 22%であった。全体の満足度は 89.7%であった。

2025 年度においては、SQL のコンテンツ改良、およびデータマネジメントに関するセミナーの改良プログラム開発を行った。

(1) SQL のコンテンツ改良

SQL のコンテンツにおいては、リアルワールドデータの基本概念からデータベースの仕組み、SQL Server の導入、主要構文の理解、さらに横断研究・コホート研究・薬剤疫学研究ごとの具体的なクエリ作成まで段階に応じて、前掲の教本に沿って実践できるプログラムを開発中である。その主要なコンテンツは下記の通りである。

NDB/DPC 等人材育成セミナー

SQL セミナー (初級・中級編) 2026 年度版・概要

1. レセプトデータ

- 1.1 レセプトデータの構造
- 1.2 収集元別レセプトデータの概要
- 1.3 レセプトデータの妥当性
- 1.4 レセプトデータの欠測

2. SQL の概略

- 2.1 リアルワールドデータ研究における SQL の立ち位置
- 2.2 データとデータベース
- 2.3 データベースの構造としてのリレーショナルデータベース
- 2.4 リレーショナルデータベース管理システムとクライアントツール

- 2.5 SQL SERVERとそのクライアントツールのインストール
- 2.6 SQL SERVERを用いたデータの取り込み
- 3. SQL の基本構文
 - 3.1 基本的な SQL の知識
 - 3.2 SQL の基本コマンド
 - 3.3 テーブル作成演習
- 4. 横断研究のための SQL 構文
 - 4.1 リサーチクエスチョンからのクエリ作成計画の策定
 - 4.2 実際のクエリ作成
- 5 コホート研究のための SQL 構文
 - 5.1 リサーチクエスチョンからのクエリ作成計画の策定
 - 5.2 実際のクエリ作成
- 6 薬剤疫学研究のための SQL 構文
 - 6.1 リサーチクエスチョンからのクエリ作成計画の策定
 - 6.2 実際のクエリ作成

なお、SQL（上級編）は2024年度版をベースに、Webで完結できる演習を追加した改良版を（資料1）を作成し、2026年度にコンテンツを完成させる見込みである。

(2) データマネジメントに関するセミナー

コンテンツには以下を含めた。（資料2）

- (i) 臨床疫学研究に関連する情報管理
情報管理に必要な CIA、すなわち Confidentiality（守秘性、機密性）、

Integrity（完全性）、Availability（可用性）の概念を理解し、研究のアウトプットの長期的最大化を目指して可用性を損なわないように守秘性と完全性を高める情報管理の方法を学ぶ。

- (ii) 標準データセットの抽出プロセス
システム構築、ユーザー認証、データのバックアップ、などについて学ぶ。

実際の事例に基づいて、データベースからのデータ抽出のプロセスを学ぶ。

- (iii) データセット抽出プロセスの設計
データの個人レベルでの時系列化、データハンドリングプロセスの標準化、クエリ設計、解析単位の整理、デザインダイアグラム、マスター整備、等について学ぶ。

2. 大規模データベース研究の実践

過去の受講生のうち希望者に対して実際の研究計画やデータ分析の支援を行い、論文執筆等につなげた。

研究代表者と各分担者はそれぞれの施設において多数の研究協力者を率い、人材育成プログラムのノウハウを生かして、NDB データ、介護データ、DPC データ等を用いた研究を継続的に実施し、2024 年の 121 編、2024 年の 113 編につづいて、2025 年に 110 編の研究論文を出版した。その一覧は下記の「G.研究発表」に示す。

本報告ではこのうち NDB を用いた最近の代表的な研究[論文番号 39]の内容を記述する。**ガバペンチノイドと慢性閉塞性肺**

疾患の増悪リスク：NDB を用いた研究

【背景】

慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 患者に対するガバペンチノイド系薬剤の効果に関するデータは乏しいが、米国食品医薬品局 (FDA) は、特に呼吸器系の危険因子を有する患者に対して、これらの薬剤に関する安全性の警告を発している。

【目的】

ガバペンチノイド系薬剤の使用が、全身性コルチコステロイドを必要とする COPD の増悪の増加と関連しているかどうかを調査すること。

【方法】

NDB を用いて、active-comparator new-user design による後ろ向きコホート研究を実施した。2015 年から 2022 年の間にガバペンチノイド系薬剤の投与を開始した、COPD および神経因性疼痛または慢性疼痛を有する患者を特定した。2 つの active-comparator new-user cohort を作成した。1 つは三環系抗うつ薬群、もう 1 つはセロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬群である。患者の背景要因については、傾向スコア・オーバーラップ重み付けを用いてバランシングを行った。主要評価項目は、全身性コルチコステロイドを必要とする COPD 増悪の初回発症とした。ガバペンチノイドに関連するハザード比 (HR) は、重み付けコックス比例ハザードモデルを用いて評価した。

【結果】

三環系抗うつ薬コホート (37,098 例) において、ガバペンチノイドは主要評価項目の発生率上昇と関連していた (100 人年あたり 67.8 対 46.7; HR、1.21 [95%信頼区間、1.03-1.42])。セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬コホート (48,480 名) においても、ガバペンチノイドは主要アウトカムの発生率上昇と関連していた (100 人年あたり 68.8 対 51.4; HR、1.18 [95%信頼区間、1.10-1.28])。

【結論】

ガバペンチノイド系薬剤は、神経障害性疼痛や慢性疼痛の治療において、同じ治療段階にある他の中枢神経系に作用する薬剤と比較して、COPD の増悪リスクを高める可能性がある。したがって、その使用は、明らかに有益な症例に限定すべきである。

D. 考察

2023 年度に開発した研究実践能力養成プログラムを、2024 年度に日本臨床疫学会の協力のもとで実践し、評価を行った。受講生によるアンケート評価結果に基づき、2025 年度においては、SQL のコンテンツ改良、およびデータマネジメントに関するセミナーの改良プログラム開発に取り組んだ。

本研究班の研究協力者 2 名が中心となり、SQL の教本を作成し、それにも続いて基礎編と中級編の教育プログラムのコンテンツを作成中であり、2026 年度以降にリ

リース予定である。

データマネジメントに関するセミナーについては、臨床疫学研究に関連する情報管理の実際、大規模データベースから目的にあった標準データセットを抽出するプロセスの設計について学ぶプログラムを新たに開発した。

これらのコンテンツは、本研究の後継研究において、他のプログラムとともにさらに改良を加え、新規の「NDB・DPC等データベース研究人材育成セミナー」として開講する予定である。

大規模データベース研究については、継続的に実践できている。2019年の約50編、2020年の約70編、2021年の約100編、2022年の117編、2023年の124編、2024年の113編、2025年は110編の原著論文を出版した。2021年以降は毎年100編以上を継続できしており、本研究の人材育成プログラムの効果を示すものである。

本研究は、わが国の大規模データベース研究において不足している「人材育成」を最重視し、大規模データベース研究のための種々の技術を一般化し体系的なプログラムを構築した上で、それらを多数の研究者等に利活用してもらえようように社会実装を試みる点が、既存研究にない独創的な点である。

NDB・HIC ばかりでなく、あらゆる保健・医療・介護ビッグデータに対応できる人材育成を図ることにより、ビッグデータのデータハンドリング、データベー

スマネジメント等に関する総合的な技術を持つ人材を多数育成し、データ利用者・研究者の裾野を広げることができる。

E. 結論

本研究は、厚生労働省が進める NDB・HIC 高度利活用に直接反映される研究である。

NDB・HIC ばかりでなく、あらゆる保健・医療・介護ビッグデータに対応できる人材育成を図ることにより、ビッグデータのデータハンドリング、データベースマネジメント等に関する総合的な技術を持つ人材を多数育成し、データ利用者・研究者の裾野を広げることができる。それにより、今後整備される種々の保健・医療・介護統合データベースの本格稼働の際には、全省的な政策課題に関する研究・知見の提供にも貢献できる。さらに、日常臨床のクリニカル・クエスチョンをデータベース活用により解明する研究実践能力を持つ研究者を多数育成し、データハンドリング技術と臨床研究実践能力の両方に長けた人材も多数育成することにより、わが国の大規模データベース研究の進歩を加速できる。わが国の大規模データベース研究の技術水準を世界トップレベルに向上させ、わが国発のエビデンスを量産できることも期待される。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

論文発表

1. Akaba T, Jo T, Suzuki J, Kimura Y, Matsui H, Fushimi K, Tagaya E, Yasunaga H. Effectiveness of Oral Prophylactic Antibiotics for Diagnostic Bronchoscopy: A Nationwide Database Study. *Ann Am Thorac Soc*. 2025;22(5):707-714.
2. Aoyama K, Kaneko H, Azegami T, Okada A, Suzuki Y, Meguro S, Fujiu K, Takeda N, Morita H, Takeda N, Yasunaga H, Hayashi K. Lean body mass index and the risk of diabetes onset: A nationwide epidemiological cohort study. *J Diabetes Investig*. 2025;16(9):1623-1630.
3. Aoyama K, Okada A, Kaneko H, Azegami T, Suzuki Y, Meguro S, Fujiu K, Takeda N, Morita H, Node K, Yamauchi T, Nangaku M, Takeda N, Yasunaga H, Hayashi K. Evolving trends of antidiabetic agents stratified by age, kidney function and body mass index: Insights from a nationwide claims database. *Diabetes Obes Metab*. 2026;28(1):701-710.
4. Awano N, Aso S, Izumo T, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H. Prognostic comparison of acute exacerbations across idiopathic interstitial pneumonia subtypes: A nationwide observational study. *Respir Investig*. 2025;63(6):1229-1234.
5. Awano N, Jo T, Izumo T, Urushiyama H, Matsui H, Fushimi K, Watanabe H, Yasunaga H. In-hospital Mortality after Bronchoscopy in Patients Receiving Direct Oral Anticoagulants and Those Who Were Not: A Matched-pair Cohort Study Using a Nationwide Japanese Inpatient Database. *Intern Med*. 2025;64(22):3197-3202.
6. Azegami T, Kaneko H, Okada A, Suzuki Y, Aoyama K, Nakayama T, Fujiu K, Takeda N, Morita H, Yokoo T, Node K, Nangaku M, Takeda N, Yasunaga H, Hayashi K. Gender differences in the prescription of SGLT2 inhibitors in chronic kidney disease: A real-world database study. *Diabetes Obes Metab*. 2025;27(11):6294-6303.
7. Azegami T, Kaneko H, Okada A, Suzuki Y, Fujiu K, Nakayama T, Takeda N, Morita H, Takeda N, Fukui A, Yokoo T, Kaneko Y, Yasunaga H, Nangaku M, Hayashi K. Association between Rheumatoid Arthritis and the Incidence of IgA Nephropathy. *Am J Nephrol*. 2025;56(6):773-782.
8. Azegami T, Kaneko H, Okada A, Suzuki Y, Ko T, Fujiu K, Takeda N, Morita H, Takeda N, Yokoo T, Yasunaga H, Nangaku M, Hayashi K. Association of Estimated Glomerular Filtration Ratio with the Incidence of Sleep Apnea Syndrome. *Sleep*. 2025;48(3):zsae302.
9. Endo A, Michihata N, Yanagi M, Higashigawa M, Mori M, Toyoda H, Ishiguro A, Yasunaga H. Trends of

- Treatments for Pediatric Patients with Immune Thrombocytopenia in Japan. *Ann Clin Epidemiol.* 2025;8(1):1-9.
10. Furukawa M, Wada-Hiraike O, Enomoto Y, Tsuchimochi S, Iriyama T, Sasabuchi Y, Yasunaga H, Hirota Y, Osuga Y. Association of maternal endometriosis with autism spectrum disorder in offspring: a retrospective cohort study. *BMC Pregnancy Childbirth.* 2025;26(1):112.
 11. Hamada T, Masuda A, Michihata N, Saito T, Tsujimae M, Takenaka M, Omoto S, Iwashita T, Uemura S, Ota S, Shiomi H, Fujisawa T, Takahashi S, Matsubara S, Suda K, Matsui H, Maruta A, Yoshida K, Iwata K, Okuno M, Hayashi N, Mukai T, Fushimi K, Yasuda I, Isayama H, Yasunaga H, Nakai Y; WONDERFUL study group in Japan and collaborators. Comorbidity burden and outcomes of endoscopic ultrasound-guided treatment of pancreatic fluid collections: a multicenter study with nationwide data-based validation. *Digestive Endoscopy.* 2025;37(4):413-425.
 12. Hatano M, Okada A, Sasabuchi Y, Ishikura H, Tanaka T, Saito T, Tanaka S, Yasunaga H. Gout incidence in metformin versus sodium-glucose co-transporter-2 inhibitor users: a retrospective cohort study. *Rheumatology (Oxford).* 2025;64(7):4164-4171.
 13. Hatano M, Sasabuchi Y, Aso S, Yamada K, Ishikura H, Tanaka T, Tanaka S, Yasunaga H. Antimicrobial prophylaxis with ampicillin/sulbactam versus cefazolin for orthopedic implant-related surgical site infections: A retrospective cohort study. *J Orthop Sci.* 2025;30(6):1172-1179.
 14. Hatano M, Sasabuchi Y, Okada A, Ishikura H, Tanaka T, Saito T, Tanaka S, Yasunaga H. Sodium-glucose co-transporter-2 inhibitors vs metformin in reducing osteoarthritis risk: a retrospective cohort study of health insurance claims and check-up data. *JBMR Plus.* 2025;9(10):ziaz132.
 15. Hatano M, Sasabuchi Y, Okada A, Kimura Y, Ishikura H, Tanaka T, Saito T, Tanaka S, Yasunaga H. Osteoarthritis risk associated with romosozumab compared with teriparatide in individuals with osteoporosis: a target trial emulation study. *Ann Rheum Dis.* 2025;84(11):1938-1947.
 16. Hatano M, Yasunaga H, Ishikura H, Tanaka T, Aso S, Tanaka S. Temporal trends in acute care costs of hip fracture treatment from 2011 to 2021 in Japan. *Arch Osteoporos.* 2025;20(1):124.
 17. Hirano Y, Konishi T, Kaneko H, Aso S, Matsuda S, Kawakubo H, Kimura Y, Matsui H, Fushimi K, Daiko H, Itano O, Yasunaga H, Kitagawa Y. Respiratory complications after oesophagectomy using volatile or intravenous anaesthesia. *Br J*

- Surg. 2025;112(4):znaf052.
18. Hirano Y, Konishi T, Kaneko H, Matsuda S, Kawakubo H, Kimura Y, Matsui H, Fushimi K, Daiko H, Itano O, Yasunaga H, Kitagawa Y. Perioperative outcomes of esophagectomy after doublet versus docetaxel-based triplet neoadjuvant chemotherapy in older patients: A nationwide inpatient database study in Japan. *Ann Gastroenterol Surg.* 2025;9(4):687-697.
 19. Huang W, Matsui H, Sasabuchi Y, Yasunaga H. Changes in psychotropic medication prescription patterns during the COVID-19 pandemic among Japanese children, adolescents and young adults: interrupted time-series study using a national claims database. *BJPsych Open.* 2025;11(6):e281.
 20. Ikeda Kurakawa K, Okada A, Konishi T, Michihata N, Ishimaru M, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H, Yamauchi T, Nangaku M, Kadowaki T, Yamaguchi S. Children Comorbidity Score, a Simple Predictor for In-hospital Mortality: A Nationwide Inpatient Database Study in Japan. *JMA J.* 2025;8(2):568-579.
 21. Ishibashi T, Kaneko H, Suzuki Y, Ko T, Jimba T, Okada A, Fujiu K, Takeda N, Morita H, Node K, Yasunaga H, Takeda N. Association of lean mass index with a risk of incident stroke: a nationwide epidemiological cohort study. *J Cardiol.* 2025;86(4):411-413.
 22. Ishida R, Sasabuchi Y, Koga K, Izumi G, Shigemi D, Matsui H, Yasunaga H, Osuga Y. Association between prophylactic antibiotics for endometrial biopsy and the incidence of pelvic inflammatory disease: A retrospective cohort study. *Int J Gynaecol Obstet.* 2025;170(1):496-498.
 23. Ishida R, Sasabuchi Y, Koga K, Ohbe H, Matsui H, Izumi G, Shigemi D, Yasunaga H, Osuga Y. Postpartum haemorrhage in pregnant carriers of haemophilia and women with von Willebrand disease: a nationwide inpatient database study. *Annals of Clinical Epidemiology.* 2025;7(4):105-112.
 24. Ishizuka K, Yamana H, Morita K, Matsui H, Ohbe H, Fushimi K, Yasunaga H. Association Between the Intensity and Frequency of Swallowing Rehabilitation and Oral Intake at Discharge in Older Patients with Acute Post-stroke Dysphagia. *Dysphagia.* 2025;40(5):1132-1144.
 25. Isogai T, Morita K, Okada A, Michihata N, Matsui H, Miyawaki A, Jo T, Yasunaga H. Association between Complementary Use of Goreisan (a Japanese Herbal Kampo Medicine) and Heart Failure Readmission: A Nationwide Propensity Score-Matched Study. *Journal of Cardiology.* 2025;85(3):220-228.
 26. Isogai T, Morita K, Okada A, Michihata N,

- Matsui H, Miyawaki A, Yasunaga H. Association Between Complementary Use of Daikenchuto (a Japanese Herbal Medicine) and Readmission in Older Patients With Heart Failure and Constipation. *Circulation Reports*. 2025;7(2):86-96.
27. Iwai C, Jo T, Okada A, Fujita A, Konishi T, Oba K, Hashimoto Y, Yasunaga H. Association between immune checkpoint inhibitors and uveitis in patients with lung cancer, renal cell carcinoma, or malignant melanoma. *Can J Ophthalmol*. 2025;60(5):e713-e720.
28. Iwai C, Konishi T, Aso S, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H. Trends in the use of Japanese herbal Kampo medicine in inpatients with cancer: a 14-year nationwide analysis. *Int J Clin Oncol*. 2025;30(11):2244-2256.
29. Iwai C, Konishi T, Miyawaki A, Okada A, Isogai T, Jo T, Yasunaga H. Cardiovascular adverse events associated with denosumab versus zoledronic acid in patients with breast cancer: a propensity score overlap weighted analysis. *Breast Cancer Res Treat*. 2025;215(1):16.
30. Iwai C, Miyawaki A, Konishi T, Okada A, Fujita A, Jo T, Yasunaga H. Ocular adverse events of perioperative adjuvant docetaxel vs paclitaxel for breast cancer: propensity-score overlap-weighted analysis. *Breast Cancer Res Treat*. 2025;212(1):173-182.
31. Jiang L, Okada A, Ishida R, Yasunaga H. Association Between Metabolic Syndrome and Incident Cervical Cancer: A Retrospective Cohort Study. *J Obes*. 2025;2025:3691654.
32. Jimba T, Kaneko H, Suzuki Y, Okada A, Azegami T, Ko T, Fujiu K, Morita H, Takeda N, Hayashi K, Yokoo T, Node K, Komuro I, Yasunaga H, Nangaku M, Takeda N. Effect of SGLT2i on kidney outcomes of individuals with type 2 diabetes according to body mass index: nationwide cohort study. *Eur Heart J Cardiovasc Pharmacother*. 2025;11(2):155-163.
33. Kameda S, Yamana H, Sasabuchi Y, Michihata N, Aso S, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H, Kohro T. Early Corticosteroid Use and Short-Term Outcomes in Pediatric Bacterial Meningitis: A Nationwide Study in Japan, 2014 to 2022. *Pediatr Neurol*. 2025;164:97-104.
34. Kamijo K, Nakajima M, Shigemi D, Kaszynski RH, Ohbe H, Goto T, Sasabuchi Y, Fushimi K, Matsui H, Yasunaga H. Characteristics and outcomes of patients with postpartum hemorrhage undergoing transcatheter arterial embolization: a nationwide observational study. *International Journal of Gynecology and Obstetrics*. 2025;169(1):341-348.
35. Kawasaki N, Miyawaki A, Kimura Y,

- Matsuo Y, Fushimi K, Yasunaga H. Association between Dementia and Early Rehabilitation in Older Inpatients with Internal Medical Conditions. *J Am Med Dir Assoc*. 2025;26(6):105595.
36. Kimura Y, Jo T, Hashimoto Y, Kumazawa R, Ishimaru M, Matsui H, Yokoyama A, Tanaka G, Yasunaga H. Epidemiology of pulmonary alveolar proteinosis: A descriptive study using a Japanese national administrative claims database. *ERJ Open Res*. 2025;11(1):00666-2024.
 37. Kimura Y, Jo T, Inoue N, Suzukawa M, Matsui H, Sasabuchi Y, Yasunaga H. Association of novel antihyperglycaemic drugs versus metformin with COPD exacerbations. *ERJ Open Res*. 2025;11(3):00757-2024.
 38. Kimura Y, Sasabuchi Y, Jo T, Hashimoto Y, Kumazawa R, Ishimaru M, Matsui H, Yokoyama A, Tanaka G, Yasunaga H. Impact of Hemoptysis Etiology and Embolic Agent Type on Prognosis in Patients Undergoing Bronchial Artery Embolization. *Radiol Cardiothorac Imaging*. 2025;7(3):e240343.
 39. Kimura Y, Jo T, Inoue N, Suzukawa M, Matsui H, Sasabuchi Y, Yasunaga H. Gabapentinoids and Risk for Exacerbation of Chronic Obstructive Pulmonary Disease. *Annals of the American Thoracic Society*. 2025;22(12):1843-1852
 40. Kitaoka H, Konishi T, Shitara Y, Ito A, Kashima K, Kimura Y, Matsui H, Kato M, Takahashi N, Yasunaga H. Association between early-phase opioid use and outcomes in extremely preterm infants: A nationwide study. *Pediatr Res*. 2025;98(5):1841-1848.
 41. Kitaoka K, Kaneko H, Suzuki Y, Okada A, Mizuno A, Fujiu K, Takeda N, Morita H, Azegami T, Hayashi K, Node K, Furui Y, Miura K, Yasunaga H, Takeda N. Blood pressure control and treatment status at 1 year after the first health check-up in individuals with observed referral-level blood pressure. *Hypertens Res*. 2025;48(10):2537-2547.
 42. Ko T, Kaneko H, Suzuki Y, Komuro J, Komuro K, Jimba T, Okada A, Fujiu K, Takeda N, Morita H, Yumino D, Node K, Ieda M, Yasunaga H, Komuro I, Takeda N. Gender differences in cardiovascular events among patients with sleep apnoea syndrome: a real-world data analysis of a nationwide epidemiological dataset. *Eur J Prev Cardiol*. 2025;32(15):1482-1490.
 43. Ko T, Kaneko H, Suzuki Y, Okada A, Azegami T, Fujiu K, Takeda N, Morita H, Yokoo T, Hayashi K, Komuro I, Yasunaga H, Nangaku M, Takeda N. Dose-dependent association between estimated glomerular filtration rate and the subsequent risk of depression: An analysis of a nationwide epidemiological dataset. *Eur J Clin Invest*. 2025;55(1):e14322.

44. Ko T, Suzuki Y, Kaneko H, Okada A, Jimba T, Azegami T, Mizuno A, Ejiri K, Fujiu K, Takeda N, Morita H, Hayashi K, Node K, Yasunaga H, Nangaku M, Takeda N. Cardiovascular-kidney-metabolic syndrome stage predicts cardiovascular outcomes in cancer patients: a real-world data analysis of a nationwide epidemiological dataset. *Eur Heart J Open*. 2025;5(5):oeaf115.
45. Kodama S, Kainaga M, Aso S, Jo T, Hashimoto Y, Matsui H, Yasunaga H, Shirota Y, Hamada M, Fushimi K, Toda T. Overview of Immunotherapy Administration for Miller Fisher Syndrome in Japan: A Nationwide Retrospective Cohort Study. *Ann Clin Epidemiol*. 2025;8(1):10-17.
46. Koizumi M, Kashio A, Ishimaru M, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H, Yamasoba T. Clinical features of cochlear implantation in Japan and factors affecting postoperative infection. *Auris Nasus Larynx*. 2025;52(6):672-678.
47. Komatsu S, Isogai T, Makito K, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H. Seizure after flumazenil reversal for total intravenous anaesthesia with remimazolam versus propofol: a matched retrospective cohort analysis of a large Japanese nationwide inpatient database. *Br J Anaesth*. 2025;134(4):1050-1057.
48. Komuro K, Kaneko H, Komuro J, Suzuki Y, Okada A, Mizuno A, Fujiu K, Takeda N, Morita H, Node K, Yasunaga H, Takeda N, Ieda M, Komuro I. Differences in the Association of Lifestyle-Related Modifiable Risk Factors with Incident Cardiovascular Disease Between Individuals with and without Diabetes. *European Journal of Preventive Cardiology*. 2025;32(5):376-383.
49. Komuro K, Komuro J, Kaneko H, Suzuki Y, Okada A, Fujiu K, Takeda N, Morita H, Node K, Yasunaga H, Komuro I, Ieda M, Takeda N. The relationship between depression and cardiovascular disease in older people: results from a large-scale epidemiological cohort study in Japan. *Eur Geriatr Med*. 2025;16(2):673-680.
50. Kutsukake M, Aso S, Konishi T, Fujiogi M, Takamoto N, Yanagida Y, Morita K, Fushimi K, Matsui H, Yasunaga H, Fujishiro J. Perioperative outcomes of neonatal versus delayed surgery for Hirschsprung disease: a nationwide retrospective cohort study in Japan. *Pediatr Surg Int*. 2025;41(1):211.
51. Kutsuna S, Ohbe H, Kimura Y, Shinmoto K, Matsuo Y, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H. Association between early initiation of anti-herpesvirus therapy and outcomes in herpesvirus encephalitis: A Nationwide Retrospective Propensity Score Analysis in Japan. *Int J Infect Dis*. 2025;159:107997.

52. Kutsuna S, Ohbe H, Matsui H, Yasunaga H. Exploring the efficacy of routine antimicrobial therapy in severe fever with thrombocytopenia syndrome: Overlap weighting analysis using a nationwide inpatient database. *J Infect Chemother.* 2025 Jan;31(1):102457
53. Lin J, Sato S, Aso S, Fushimi K, Matsui H, Yasunaga H. Association of comorbid schizophrenia with cancer stage at admission, treatments, length of stay, and 30-day in-hospital mortality in patients with pancreatic cancer: A retrospective matched-pair cohort study in Japan. *Eur J Cancer.* 2025;222:115468.
54. Maki H, Isogai T, Michihata N, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H. Sodium-glucose co-transporter-2 inhibitors versus dipeptidyl peptidase-4 inhibitors on in-hospital mortality following pneumonia without heart failure: A retrospective cohort study of older adults with diabetes. *Respir Investig.* 2025;63(1):88-93.
55. Maki W, Kitaoka H, Aso S, Ono S, Kato M, Yasunaga H. Validity of diagnoses, procedures, and birth records in a Japanese administrative claims database for pediatric patients. *Pediatr Int.* 2025;67(1):e70178.
56. Makimoto H, Yamana H, Isogai T, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H, Kohro T. Association Between Periprocedural Anticoagulation in Ventricular Tachycardia Ablation and Postprocedural Stroke and Intracranial Hemorrhage. *JACC Asia.* 2025;5(4):595-598.
57. Makito K, Fujita A, Honda A, Okada A, Yasunaga H. Trends in Nonsurgical Interventions and Analgesic Medications for Low Back Pain: A Large Claims Database Study in Japan. *Pain Pract.* 2025;25(8):e70080.
58. Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H. Development and validation of a distributed representation model of Japanese high-dimensional administrative claims data for clinical epidemiology studies. *BMC Med Res Methodol.* 2025;25(1):95.
59. Matsumoto T, Hatano M, Takeda R, Matsuo Y, Tanaka S, Yasunaga H. Increasing utilization of total ankle arthroplasty in Japan: Trends and regional variations over 12 Years from a national database. *J Orthop Sci.* 2025;30(6):1094-1100.
60. Matsuo Y, Miyawaki A, Watanabe H, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H. Potassium Iodide Use and Patient Outcomes for Thyroid Storm: An Observational Study. *J Clin Endocrinol Metab.* 2025 ;110(2):e310-e320.
61. Matsuo Y, Shibahara T, Yasunaga H. Outcomes associated with use of makyokansekitto, a Japanese herbal kampo medicine, in outpatients with community-

- acquired pneumonia: A retrospective cohort study. *J Gen Fam Med*. 2025;26(5):427-434.
62. Miike S, Matsuo Y, Sasabuchi Y, Aso S, Fushimi K, Matsui H, Yasunaga H. Treatment patterns and outcomes of patients hospitalized for leptospirosis in endemic and non-endemic regions in Japan, 2010-2023: A nationwide inpatient database study. *J Infect Chemother*. 2025;31(9):102786.
 63. Miyake S, Miyawaki A, Matsui H, Kimura Y, Yasunaga H. Hospital Discharge Prescription of Drugs That May Raise Blood Pressure in Patients With Hypertension. *Pharmacoepidemiol Drug Saf*. 2025;34(5):e70150.
 64. Morita K, Nakagami G, Yasaka T, Kida R, Kitamura A, Isobe T, Takahashi Y, Watanabe H, Ikeda M, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H. Impact of certified nurses specialized in heart failure on in-hospital mortality: A nationwide retrospective cohort study in Japan. *Nurs Outlook*. 2025;74(1):102605.
 65. Morita T, Sasabuchi Y, Yamana H, Hosoi T, Ogawa S, Ohbe H, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H. Effect of a Financial Incentive Scheme for Medication Review on Polypharmacy in Elderly Inpatients With Dementia: A Retrospective Before-and-After Study. *J Patient Saf*. 2025;21(1):30-34.
 66. Nakamura K, Okada A, Watanabe H, Oka K, Honda Y, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H, Kim Y. In-hospital mortality of heat-related disease associated with wet bulb globe temperature: a Japanese nationwide inpatient data analysis. *Int J Biometeorol*. 2025;69(4):873-884.
 67. Nakashima S, Egashira S, Aso S, Yasunaga H, Sato K, Niimi Y, Isogai T, Matsui H, Shirota Y, Hamada M, Fushimi K, Toda T, Kodama S. Contact Aspiration Combined with a Stent Retriever versus Contact Aspiration Alone in Mechanical Thrombectomy for Acute Ischemic Strokes: A Nationwide Analysis Using the Diagnosis Procedure Combination Database. *J Neuroendovasc Ther*. 2025;19(1):2025-0105.
 68. Nakashima S, Kodama S, Aso S, Jo T, Yasunaga H, Isogai T, Matsui H, Shirota Y, Fushimi K, Toda T, Hamada M. Argatroban plus dual antiplatelet therapy versus dual antiplatelet alone for acute atherothrombotic cerebral infarction. *Int J Stroke*. 2025;20(9):1123-1131.
 69. Naruse S, Nakajima M, Aoki Y, Shigemi D, Kamijo K, Kaszynski RH, Ohbe H, Sasabuchi Y, Aso S, Matsui H, Fushimi K, Nakajima Y, Yasunaga H. Clinical features and outcomes of peripartum obstetric patients admitted to the intensive care unit: A nationwide inpatient database in Japan. *Crit Care*. 2025;29(1):358.

70. Nishimoto Y, Ohbe H, Nakata J, Takiguchi T, Nakajima M, Sasabuchi Y, Isogai T, Matsui H, Sato Y, Watanabe T, Yamada T, Fukunami M, Yasunaga H. Effectiveness of an Impella Versus Intra-Aortic Balloon Pump in Patients Who Received Extracorporeal Membrane Oxygenation. *J Am Heart Assoc.* 2025;14(3):e037652.
71. Ohbe H, Kudo D, Kimura Y, Matsui H, Yasunaga H, Kushimoto S. In-hospital mortality of patients admitted to the intermediate care unit in hospitals with and without an intensive care unit: a nationwide inpatient database study. *Crit Care.* 2025;29(1):34.
72. Ohbe H, Yamakawa K, Kudo D, Aso S, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H, Yatabe T, Egi M, Ogura H, Nishida O, Kushimoto S. Impact of the Japanese clinical practice guidelines for management of sepsis and septic shock (J-SSCG) 2020 on real-world adherence and interhospital variation: a nationwide inpatient database study. *Crit Care.* 2025;29(1):225.
73. Okada A, Otsuka Y, Inoue R, Hashimoto Y, Kurakawa KI, Yasunaga H, Nangaku M, Yamauchi T, Yamaguchi S, Kadowaki T. Adherence to physician visits for diabetes care and cardiovascular disease risk: A retrospective cohort study using an administrative claims database. *Diabetes Obes Metab.* 2025;27(8):4590-4593.
74. Ro S, Aso S, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H. Association of once-daily single-device dual bronchodilators with prevention of rehospitalization for chronic obstructive pulmonary disease: A retrospective national inpatient database study. *Respir Med.* 2025;241:108033.
75. Sakurai Y, Michihata N, Osada K, Kobayashi S, Sakamoto W, Uchida Y, Ishii K, Yokohari H, Kurosawa H, Isogai T, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H. Patient Backgrounds and Outcomes of Mechanically Ventilated Children Treated in ICUs Versus General Wards in Japan: A Retrospective Cohort Study Using a National Inpatient Database. *Crit Care Med.* 2025;53(12):e2497-e2505.
76. Sasaki A, Nakajima M, Shinozaki T, Sasabuchi Y, Ohbe H, Kaszynski RH, Kimura Y, Morita K, Goto T, Aiyama Y, Nakayama I, Matsui H, Fushimi K, Ochiai H, Yasunaga H. Association between early administration of mucoactive agents and in-hospital mortality in patients with pneumonia requiring mechanical ventilation: a nationwide cohort study. *J Intensive Care.* 2025;13(1):57.
77. Sato S, Sasabuchi Y, Okada A, Yasunaga H. Association between self-reported difficulty in chewing or swallowing and frailty in older adults: A retrospective cohort study. *Geroscience.* 2025;47(3):3497-3505.
78. Sato S, Sasabuchi Y, Okada A, Yasunaga

- H. Do orally disintegrating tablets facilitate medical adherence and clinical outcomes in patients with post-stroke dysphagia? *Dysphagia*. 2025;40(2):381-387.
79. Sato S, Sasabuchi Y, Okada A, Yasunaga H. Incidence of New Fractures in Older Patients with Osteoporosis Receiving Biosimilar Teriparatide or Brand-name Reference Products: A Retrospective Cohort Study. *British Journal of Clinical Pharmacology*. 2025;91(1):143-150.
 80. Sato S, Yasunaga H, Matsuo Y, Matsui H, Fushimi K, Miyawaki A. Association between socioeconomic disadvantage and low-value care in acute care hospitals in Japan: Cross-sectional study. *Health Policy*. 2026;163:105479.
 81. Sato T, Ohbe H, Sasabuchi Y, Inokuchi R, Yasunaga H, Doi K. Impact of COVID-19 on resuscitation after hospital arrival for patients with out-of-hospital cardiac arrest: An interrupted time series analysis. *Acute Med Surg*. 2025;12(1):e70039.
 82. Sato T, Sasabuchi Y, Inokuchi R, Aso S, Yasunaga H, Doi K. Mortality of severe pneumonia treated with methylprednisolone versus hydrocortisone: a propensity-matched analysis. *J Intensive Care*. 2025;13(1):39.
 83. Setogawa N, Ohbe H, Matsui H, Yasunaga H. Impact of Hospital Volume on Long-Term Outcomes After Endovascular Therapy for Peripheral Artery Disease. *J Endovasc Ther*. 2025 Jun;32(3):841-850.
 84. Shimada Y, Ohbe H, Kutsuna S, Kosaka S, Matsui H, Yasunaga H. Effect of Empirical Antimicrobial Therapy of Piperacillin-tazobactam Versus Carbapenems on Mortality for Patients with Sepsis from Nursing Homes. *Intern Med*. 2025;64(12):1820-1827.
 85. Shirasaki K, Ohbe H, Hifumi T, Okajima M, Otani N, Yasunaga H. Association Between Patients' Admission to the ICU and Psychological Disorders in Their Families: A Retrospective Matched-Pair Cohort Study. *Crit Care Med*. 2025;53:e1963-e1972.
 86. Shiota G, Sato S, Yasunaga H, Matsuo Y, Akahane M, Itoh D, Abe O. Cost-effectiveness of Preventive Transarterial Embolization for Splenic Artery Aneurysm Below the Guideline-Recommended Size Threshold: A Japanese Claims-Based Study. *J Vasc Interv Radiol*. 2025;37(3):107849.
 87. Sugai S, Sasabuchi Y, Yasunaga H, Aso S, Matsui H, Fushimi K, Yoshihara K, Nishijima K. Comparison of open and laparoscopic appendectomy according to the trimester of pregnancy: a nationwide observational study. *World Journal of Surgery*. 2025;49(1):74-81.
 88. Sugai S, Sasabuchi Y, Yasunaga H, Aso S, Matsui H, Fushimi K, Yoshihara K,

- Nishijima K. Impact of gestational age on the management of acute appendicitis during pregnancy: a nationwide observational study. *International Journal of Gynecology and Obstetrics*. 2025;168(3):1047-1054.
89. Suzuki T, Michihata N, Yoshikawa T, Saito K, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H. Delivery Type and Other Birth Factors Associated With Kawasaki Disease. *Pediatr Infect Dis J*. 2025;44(10):937-941.
 90. Suzuki Y, Kaneko H, Okada A, Komuro J, Ko T, Fujiu K, Takeda N, Morita H, Nishiyama A, Ieda M, Node K, Yasunaga H, Nangaku M, Komuro I. Kidney outcomes with SGLT2 inhibitor vs. DPP4 inhibitor use in older adults with diabetes. *Nephrol Dial Transplant*. 2025;40(3):495-504.
 91. Suzuki-Chiba H, Miyawaki A, Hakozaiki T, Aso S, Matsui H, Yasunaga H. Association Between Area-Level Socioeconomic Disadvantage and Immunotherapy in Patients With Non-Small Cell Lung Cancer. *Cancer Med*. 2025;14(13):e71038.
 92. Tachibana N, Michihata N, Oichi T, Nagata K, Nakamoto H, Ohtomo N, Yoshida Y, Nakajima K, Miyahara J, Kato S, Doi T, Taniguchi Y, Matsubayashi Y, Tanaka S, Yasunaga H, Oshima Y. Postoperative Complications of Surgery for Cervical Spondylotic Myelopathy with and Without Athetoid Cerebral Palsy. *Global Spine J*. 2025 Mar;15(2):1324-1329.
 93. Takamoto N, Aso S, Ishida R, Konishi T, Fushimi K, Yasunaga H. Cost-effectiveness analysis of 9-valent human papillomavirus vaccine combined with screening for cervical cancer in Japan. *Int J Gynaecol Obstet*. 2025;169(2):788-801.
 94. Takamoto N, Aso S, Konishi T, Fujiogi M, Morita K, Kutsukake M, Yanagida Y, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H, Fujishiro J. Timing of surgery and outcomes in patients with congenital pulmonary airway malformation: a national inpatient database study. *Pediatr Surg Int*. 2025;41(1):288.
 95. Takamoto N, Konishi T, Fujiogi M, Kutsukake M, Morita K, Hashimoto Y, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H, Fujishiro J. Clinical course and management of pediatric gastroduodenal perforation beyond neonatal period. *Pediatr Neonatol*. 2025;66(5):424-429.
 96. Tanaka C, Tagami T, Nakayama F, Kuno M, Kitamura N, Yasunaga H, Aso S, Takeda M, Unemoto K. Changes Over 7 Years in Temperature Control Treatment and Outcomes After Out-of-Hospital Cardiac Arrest: A Japanese, Multicenter Cohort Study. *Ther Hypothermia Temp Manag*. 2025;15(1):23-30.
 97. Tanaka G, Aso S, Jo T, Urushiyama H,

- Yokoyama A, Tamiya H, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H. Association between body mass index and the prognosis of community-acquired pneumonia in patients with nontuberculous mycobacterial pulmonary disease: a retrospective cohort study using a nationwide inpatient database. *BMC Infect Dis*. 2025;25(1):1069.
98. Tange H, Miyamoto Y, Sasabuchi Y, Yasunaga H. Association between ramelteon use and risk of fragility fractures: A retrospective cohort study. *Arch Osteoporos*. 2025;20(1):95.
 99. Taniguchi J, Aso S, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H. Association Between Ceftriaxone Use and Biliary Infections in Patients With Pneumonia: A Nationwide Retrospective Cohort Study. *Pharmacoepidemiol Drug Saf*. 2025;34(6):e70162.
 100. Taniguchi J, Aso S, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H. Outcomes of ceftriaxone 2 g versus 1 g daily in hospitalized patients with pneumonia: a nationwide retrospective cohort study. *J Antimicrob Chemother*. 2025;80(8):2194-2202.
 101. Taniguchi J, Yamana H, Matsuo Y, Sasabuchi Y, Matsui H, Kohro T, Yasunaga H. Association between preexisting long-term care needs and in-hospital mortality and long-term outcomes in older inpatients with pneumonia: A retrospective cohort study. *J Gen Fam Med*. 2025;26(4):326-333.
 102. Tonai M, Sasabuchi Y, Watanabe H, Matsui H, Yasunaga H. Association Between Rocuronium Administration and Clinical Outcomes in Patients With Moderate-To-Severe Acute Respiratory Distress Syndrome: A Retrospective Cohort Study. *Ann Pharmacother*. 2025;59(11):969-977.
 103. Ueno K, Kaneko H, Kamiya K, Okada A, Konishi M, Imamura T, Suzuki Y, Fujiu K, Takeda N, Morita H, Ako J, Node K, Yasunaga H, Takeda N, Komuro I. The benefits of early rehabilitation for patients with acute heart failure requiring intravenous inotropic drugs. *Critical Care Medicine*. 2025;53(1):e87-e95.
 104. Ueno K, Kaneko H, Kamiya K, Suzuki Y, Okada A, Takeda N, Fujiu K, Morita H, Ako J, Node K, Yasunaga H, Komuro I. Age-Dependent Relationship of Physical Inactivity With Incident Cardiovascular Disease: Analysis of a Large Japanese Cohort. *Can J Cardiol*. 2025;41(3):470-477.
 105. Ueno K, Ko T, Suzuki Y, Kaneko H, Kamiya K, Okada A, Fujiu K, Takeda N, Morita H, Node K, Yasunaga H, Takeda N. Frailty and its components and cardiovascular outcomes in older adults: A nationwide epidemiological study. *Geriatr Gerontol Int*. 2025;25(9):1239-1246.

106. Yajima W, Aso S, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H. Association between initial intravenous fluid volume and the composite outcome of hemodialysis dependence at discharge or in-hospital mortality in inpatients with rhabdomyolysis. *J Intensive Care*. 2025;13(1):22.
 107. Yamaji N, Morita K, Ono S, Ishimaru M, Aso S, Yotani N, Ikeda M, Kita S, Morisaki-Nakamura M, Inoue N, Yoshioka T, Hasegawa T, Matsui H, Fushimi K, Yasunaga H. Association between oral management and complications after hematopoietic stem cell transplantation. *Support Care Cancer*. 2025;33(12):1141.
 108. Yamauchi R, Sasabuchi Y, Aso S, Yasunaga H. Timing of rehabilitation and pressure ulcers requiring treatment during acute hospitalization in patients with cervical spinal cord injuries. *Spinal Cord*. 2025;63(10):544-550.
 109. Yanagida Y, Aso S, Fujiogi M, Morita K, Kutsukake M, Takamoto N, Fushimi K, Fujishiro J, Yasunaga H. Long-term outcomes after thoracoscopic versus open surgery for congenital esophageal atresia: propensity-score overlap weighting analysis. *Pediatr Surg Int*. 2025;41(1):222.
 110. Yasufuku Y, Nishioka Y, Yasunaga H, Imamura T. Association of early cardiac rehabilitation on mortality in patients with dilated cardiomyopathy using national inpatient database. *Sci Rep*. 2025;15(1):37183.
- H. 知的財産権の出願・登録状況
なし